

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	160 施設整備事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	02	清掃費
		目	03	し尿処理費
基本 施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	細目	270	し尿処理及び施設維持管理経費
		細々目	52	施設整備事業
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	100600		担当者
	名称	伊賀市浄化センター		氏名
			玉岡 佳樹	連絡先
			23 - 1179	(内線)

対象(誰を、何を)	第1・第2処理施設の設備機器。		
成果(どうする)	老朽化著しい設備機器を点検し計画性をもって補修工事を行うことにより、安全・適正な運転管理を行う。		
根拠法令・要綱等	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例（平成16年11月1日条例第152号）		
開始年度	昭和 59 年度	関連事業	特に無し
終了年度	平成 未定 年度		
H21 事業 内容	第1・第2処理場定期整備工事 ほかに9件		
社会情勢 の変化等	昭和59年建設の第1処理場の設備は老朽化が著しい。また、平成8年建設の第2処理場も設備更新が必要になってきている。		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造	し尿処理施設	2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
工事件数 処理場定期整備工事	箇所		目標	18	目標	10
			実績	18	実績	10
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
各設備機器の正常な運行		第1・第2処理場とも、計画的な設備更新をする。	千円	目標	106,273	目標	156,000
				実績	110,878	実績	104,140
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	110,878	104,140	100,000	100,000				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	53,981	55,780	51,815	48,000				
一般財源	56,897	48,360	48,185	52,000				
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600				
フルコスト(A)+(B)	114,478	107,740	103,600	103,600				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効 率 性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
達成度	当初設定した計画を 有 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 有 予算の繰越がある場合、繰越の種別 繰越明許費	平成22年度早期に工事着手を図る
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

改善策	現状維持が何とか可能な設備は整備せず放置してある。殆どの修繕工事は故障ありきの工事であり、事前検査等で要修繕とされた場合は故障前に取り組みたい。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 事前点検で要修繕と判断された場合のみ故障前に取組む

今後の方向性(Action)

評価者氏名(担当課長)	玉岡 佳樹
【方向性】	民間委託
【理由】	第1処理場の管理・運営(直営)の民間に業務移行
現時点における課題、その他	施設の老朽化、第1処理場の管理・運営部門正職員異動先が課題
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	第1処理場について、平成23年度を目処に運転業務を委託する。